

令和4年度 第1回 海老名市社会教育委員会会議内容

日時：令和4年6月21日（火）

10：00～12：00

場所：えびなこどもセンター

201 会議室

【出席者】

委員	麻生委員、金指委員、栗山委員、佐藤委員、中谷委員、中野委員、橋本委員、藤井委員、松島委員、山田委員		
事務局	伊藤教育長、小宮理事、中込部長、江下次長、山田課長、中島主幹、重岡副主幹、小谷田主事		
指定管理者	高橋氏、大河原氏		
公開の可否	公開	傍聴者数	0名

【社会教育委員の役割について】

社会教育法、海老名市社会教育委員条例、海老名市社会教育委員会会議規則について説明

【議長・副議長の選出】

議長 … 山田委員

副議長 … 橋本委員

【議事】

（1）社会教育事業計画について

ア 海老名市社会教育計画について

～質疑応答～

委員：子ども向けのイベントでは、「体験型」「参加型」をテーマにゲーム性を含めて実施すると、夢中になって参加してくれる。

委員：昨年度は、えびなっ子ふれあいフェスタが中止となり、悔しかった。

参加申込をしてくれた児童の興味・関心を絶やさないようにしていきたい。

委員：えびなっ子ふれあいフェスタでは、アートや工作等の自分を表現できる場があると良い。

委員：小学生だけでなく、中学生も体験できるイベントにして社会と中学生をつないでいきたい。

中学生には体験を通して自信をつけてもらいたい。

イ 令和4年度事業計画について

今年度のえびなっ子ふれあいフェスタは、12月17日（土）、会場はこどもセンターで行うことを提案した。

また、体験ブースは昨年度出展を予定していた団体を優先して依頼することを提案した。

→了承。委員の意見を踏まえ、更なる事業の充実については、次回以降の会議で事務局から提案することとなった。

～質疑応答～

委員：成人式は名称が変わるのか？

事務局：民法の改正で成人年齢が18歳に引き下げられたため、名称を変更し、実施する。

(2) 電子図書館について

～質疑応答～

委員：読みたい本を他の人が借りている場合は読むことができないのか。

事務局：複数名で同時に読める電子図書資料と1冊につき1人ずつしか読むことができない電子図書資料がどちらも導入される予定。

(3) 海老名市立図書館について

委員：各館それぞれ地域の特色を活かしている。自分の活動にも活かしていきたい。

委員：毎週、中央図書館を利用している。

様々なイベントを実施しているが、周知が足りないと感じる。

SNSを活用し、イベントのPRを更に充実させてほしい。

委員：孫と一緒に共通のテーマを学習できると良い。

現在はターゲットとなる年齢を絞って、各イベントを実施しているように感じるが、多世代と一緒に学習できる機会があると嬉しい。

委員：有馬図書館は昨年度リニューアルされて、利用者も増えていると感じる。

委員：文化芸術協会では、若い人を取り入れて、文化の継承を図っていききたいと考えている。例えば、図書館の俳句のイベントと、連携できたら良い。

委員：各地域に誰でも徒歩で行けるような、図書の拠点が広がったら良い。

(4) その他

ふれあいフェスタ中止に伴う映像公開について

5分程度にまとめた各団体の活動の様子を市公式 Youtube チャンネルで公開する。

→了承。